

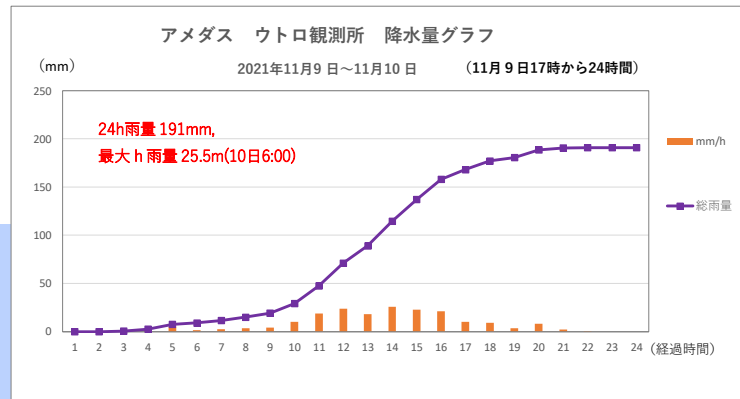
知床保安林管理道等の状況と今後の復旧について

令和3年11月9日から10日にかけて発達した低気圧が道東を通過し局地的に豪雨をもたらした。アメダスウトロ観測所の記録では24時間雨量191mm、1時間最大雨量は25.5mmを記録した。

この豪雨により、知床大橋からルシャ川までの道路状況の確認を行ったが、知床管理道は硫黄山橋から約2.5kmまでは路面の損傷が激しく車両の通行が出来ない状況であった。

ルシャ川の橋については、この降雨で大きく被災している状況になく、ルシャ川の河床路についても、路面が増水で洗い流され凹凸が顕著であるが、路体については大きな流出はない模様である。(赤枠内の写真を参照)

知床管理道については、春の融雪後の状況等も確認し、来年度に路盤と路面排水工等の補修を実施すべく検討していきたいと考えている。



知床管理道終点 (ルシャ川)

里町

横断側溝が閉塞し雨水を呑みきれず、路面が深く洗掘されている。

雨水による路面の洗掘が激しい。

路面の損傷が激しい区間 約L=2,570m

ルシャ橋、河床路の状況

河床路の通水状況

路面には複数の転石が存在

今年度落石防止網を施工した箇所には異常はない。

雨水による路面の洗掘が激しい。

横断側溝が閉塞し雨水を呑みきれず、路面が深く洗掘されている。

※写真の一部については、知床財団の山中氏より提供されました。